

その後、タケシは・・・？

1 学級の様子

タケシの様子から、自分の学級づくりに疑問を持った担任は、子どもたちの様子を詳しく観察することにした。

すると、多くの子どもたちが、自分の気持ちや考えを素直に表現できずに、ただ相手に合わせているだけで、よそよそしく接していることに気づいた。

う～ん、自分の気持ちや考えが素直に表現できる、そして周りもそれを温かく受け入れてくれる、そんな学級になってくれたら・・・。

そこで担任は、まずは自分の気持ちや考えを表現できる雰囲気をつくっていくことから始めることにした。

「そういえば、学級の雰囲気づくりに役立つものが・・・あった！これだ！」

2 学級活動の時間

担任は、タケシのことを思い浮かべながら、『どれにしようかな？』というゲーム（実習）をこのクラスに合うようにアレンジして、学級活動の時間に行うことにした。

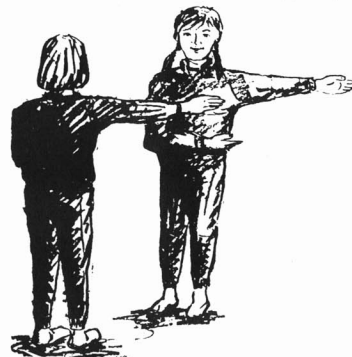
《学級活動の時間配分》

- 本時の説明とウォーミングアップ
（『ミラーリング』）・・・15分
- 『どれにしようかな？』・・・30分
- 本時のまとめ（振り返り）・・・5分

『ミラーリング』の概要

2人1組になって、1人が鏡になり、もう一方の人を映し出すという想定で行う。

鏡になった人は、相手の人の動きを、そっくりまねるように努める。



映す人は、鏡になった人を困らせないように配慮して動く。

『どれにしようかな？』の概要

それぞれの質問について、4つの選択肢を準備し、その中からいちばん自分に合っていると思われるものを選択し、所定の場所に移動する。

同じ項目を選択した者同士で、その理由について自由に話し合う。また、教師の意図的指名により感想等を出し合い、それぞれの考えを全体に知らせる。

自分の選択の傾向を知るとともに、友達の考えを知るきっかけとする。

『どれにしようかな？』の質問項目

- 1 どの季節がいちばん好きですか。
A. 春 B. 夏 C. 秋 D. 冬
- 2 どこに住みたいですか。
A. 都会 B. 郊外 C. 農村 D. 山の中
- 3 どの国へいちばん行きたいですか。
A. イギリス B. エジプト
C. フランス D. 中国